

平成27年度 当初予算主な事業（食育推進計画関連事業抜粋）

平成27年度当初予算は、「地域力・市民力」、「大地・田園の力」、「日本海拠点の活力」を活かした、3つの都市像の実現に向けた取組みを進めるなど、「安心政令市にいがた」の実現を目指して編成されています。

本資料は、その中から、食育推進計画に関連する主な事業を抜粋したものであり、予算額には食育推進計画に関係のない金額も含まれています。

(単位:千円)

事業名	事業概要	予算額
市民と地域が学び高め合う、安心協働都市		
ずっと安心して暮らせるまち		
災害に強いまちづくり		
田んぼダムの利活用促進	雨水を一時的に水田に貯留する「田んぼダム」の整備や支援を行い、降雨に伴うピーク流出量を平準化させ、農地や市街地の灌水被害を軽減します。	62,070
男女共同参画の推進・子どもを安心して産み育てられるまち		
妊娠・出産・子育ての一貫した支援		
新潟発わくわく教育ファームの推進【拡充】	子どもたちや市民に農業や食の体験を支援し、本市が誇る農業や食に対する理解を深め、ふるさとへの愛情や誇り、生きる力を培うとともに、農業を活性化します。 また、幼児向け体験学習プログラムを新たに取り入れ、農業体験学習プログラム(アグリ・スタディ・プログラム)を本格的に実施します。	41,350
食育の推進【拡充】	にいがた流 食生活の4つの区分に適合させた「えらぶ」「つくる」「たべる」「育てる」力を養うことを目的に、「農業体験」「味覚体験」「調理体験」の3つの「食育・農業体験」をもとに、食育推進事業を拡大します。 また、子どもたちを対象に、新たに五感を使った「味覚の教室」を実施します。	15,000
学・社・民の融合による教育を推進するまち		
自分の力に自信をもち心豊かな子どもを育む学校教育の推進		
<再掲>新潟発わくわく教育ファームの推進【拡充】	省略	41,350

事業名	事業概要	予算額
田園と都市が織りなす、環境健康都市		
地域資源を活かすまち		
食と農を通じた地域づくり		
<再掲>新潟発わくわく教育ファームの推進【拡充】	省略	41,350
田園資源の活用推進【新規】	地産地消エネルギーである田園資源(バイオマス)の活用を拡大し、農業の12次産業化や持続可能な低炭素型まちづくりを推進します。 ・本市の田園資源活用施策の基本方針となる「田園資源活用計画」を策定します。 ・もみ殻のビニールハウス暖房用燃料活用についてモニター調査を実施し、課題抽出や評価を行います。	5,000

事業名	事業概要	予算額
地域資源を活かすまち		
食と農を通じた地域づくり		
<再掲>食育の推進【拡充】	省略	15,000
花育の推進	「花と緑」を教育、地域活動に取り入れ、子どもの情報教育や世代間交流、地域づくりを推進します。	8,787
都市型グリーン・ツーリズムの推進	本市の農業・農村の魅力を広く知っていただくとともに、農を契機とした交流人口の拡大や農村地域を活性化します。	1,900
セカンドライフ農業体験【新規】	主に退職後のシニア世代を対象に、家庭菜園等で活用できる農業体験事業を実施することにより、高齢者の生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりを支援し、元気な高齢者の地域社会参加を促します。また、農業体験を通して消費者と生産者が交流することにより、市民の農業と地域魅力への理解を進めます。	1,700
食と農を通じた地域づくり		
食文化創造都市の推進	本市の食や食文化の素晴らしさに目を向け、これらを産業の活性化や交流の拡大などにつなげる地域の創造的取組みを民間による産官学連携組織を中心に推進します。	10,000
地域の個性、歴史、文化に根ざしたまちづくり		
江南区「魅力ぎっしり江南区」の創造と発信	区内5地区に立ち上げる実行委員会が主催する、まち歩きや梅もぎ体験などを通して、様々な地域資源の活用を進めるとともに、農工商連携を促進し、梅実薬膳や煮梨などの独自性の高い特色ある食の提案や、その普及PRにより区の魅力を高め、まちなかの活性化を図ります。	3,500
人と環境にやさしいにぎわうまち		
まちなかの再生・都心軸の明確化		
<再掲>江南区「魅力ぎっしり江南区」の創造と発信	省略	3,500
南区 みなみ～て南区魅力発信	南区の魅力である「食と花」「風」をPRし、県外へ南区の観光情報の発信を図ります。また、旅行業者等から南区の持つ魅力を活かした観光ツアーの提案を募り、南区への送客を目的とした旅行商品の造成・販売に対して一部助成を行い、観光発信力の向上と交流人口の拡大を図ります。	2,800
健康都市づくり(スマートウエルネスシティ)の推進		
健康になれるまちづくりの推進【拡充】	健康づくりへの関心・意識の向上を図るため、対象事業を拡大し、引き続き「健康マイレージ」を実施します。対象事業に参加することでポイントが交付され、景品の応募やバスICカード等に貯めることができるなど、利便性を図ります。また、市全体の健康状況を把握・分析し、効果的な政策立案を実施します。	23,000
資源循環型社会への取組み・低炭素型まちづくり		
<再掲>田園資源の活用推進【新規】	省略	5,000
食品リサイクル地域活動の支援【拡充】	平成24年度から生ごみ処理機を農産物直売所に設置し、市民が持ち込んだ生ごみを堆肥化する事業を亀田地区で行っていましたが、新たに市内2か所に拠点を設け、生ごみの地域循環の輪を拡げます。堆肥は直売所で販売する農作物の栽培等に活用します。また、家庭内での生ごみ資源化を推進するため、段ボールコンポストの減額販売や講習会を開催します。	6,060
市民の3R意識啓発の強化	市民に対するごみ分別情報の周知徹底と利便性の向上を図るため、ごみ分別アプリの普及に努めます。また、3Rを意識したライフスタイルへの転換を促進するため、使用済小型家電のリサイクルやリユース食器の普及などの取り組みを推進し、各種媒体を通じて広報展開していきます。	26,070
生ごみ減量化・資源化の推進	家庭系生ごみの減量化・資源化を推進するため、市民のライフスタイルに合う様々な講座の開催や、マンガでわかりやすいガイドブックの配布をします。また、電動生ごみ処理機で乾燥させた生ごみを拠点回収し、堆肥化します。	1,140

事業名	事業概要	予算額
日本海拠点の活力を世界とつなぐ、創造交流都市		
役割を果たし成長する拠点		
ニューフードバレーの推進		
国家戦略特区の推進【拡充】	大規模農業の改革拠点として、国家戦略特区を推進するため、区域会議の開催や区域計画の策定(計画内容の更新)、市独自の食品機能性表示制度の創設に向けた調査検討、農業分野への信用保証制度を利用した融資などを行います。	166,900
農業・農村の多面的機能の維持・発揮【拡充】	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農地、水路、農道等の地域資源の適切な保全活動に対して、農業者や地域住民などで構成される活動組織が共同で取り組む地域活動を支援します。	1,959,907
食のマーケットイン支援(新潟IPC財団補助金の一部)【拡充】	食品製造業の取り組みを支援するため、本市の産業支援機関である新潟IPC財団への補助金を拡充します。財団では、市内食料品製造等の自社商品の県外販路拡大のため、アドバイスから戦略立案、経費補助、マッチングまで一貫して支援します。専門家の意見を参考に、新潟IPC財団のプロジェクトマネージャー等がハンズオンで支援し、マーケットに受け入れられる商品開発及び改良を企業と一緒に進めます。	11,984
食の域内取引の支援(新潟IPC財団補助金の一部)【拡充】	地域内の経済循環を図るため、本市の産業支援機関である新潟IPC財団への補助金を拡充します。財団では、市内中小食品製造業の域内の販路拡大と市内食品関連企業の域内調達ルート開拓を、メーカーとバイヤーが接点を持つ機会を提供することにより支援し、地域内の取引促進を図ります。	1,670
食と花の世界フォーラム	「食と花」をキーワードに都市ブランドの構築を図り、本市の魅力と個性を国内外に発信し、国際拠点都市としての機能向上を図ることを目的に、食の国際見本市をはじめとした「食と花の世界フォーラムにいがた」を開催します。	50,200
雇用が生まれ活力があふれる拠点		
成長産業の育成		
<再掲>国家戦略特区の推進【拡充】	省略	166,900
魅力を活かした交流拠点		
食と花の魅力の向上		
<再掲>食文化創造都市の推進	省略	10,000
<再掲>都市型グリーン・ツーリズムの推進	省略	1,900
独自の魅力を活かした交流促進		
<再掲>江南区「魅力ぎっしり江南区」の創造と発信	省略	3,500

【2月補正予算】

事業名	事業概要	予算額
経済対策関連		
地域消費喚起・生活支援型		
地産地消推進事業	地産地消に取り組む小売店、飲食店等が参加するキャンペーンを実施することで、市民に地場農産物を消費する機会を増やしてもらい、地域内における農産物の循環システムの形成を促進します。	70,000
食品機能性表示制度の調査検討(国家戦略特区の推進の一部)	大規模農業の改革拠点として、国家戦略特区を推進するため、市独自の食品機能性表示制度の創設に向けた調査検討を行います。	2,400